



今年の夏は中部大学で
たのしく学ぼう!

中部大学

夏講座

ジュニアセミナー2026

目指せ!ロボットマスター

ロボットが動く仕組みから、思い通りに操るためのプログラミングまで、楽しく実体験できる講座です。教材には、世界中の教育現場で支持される「レゴ®マインドストーム」を使用。工学部のコンピュータ教育専用施設という最高の環境のもと、ロボット教育のエキスパートが直接指導にあたります。ものづくりの楽しさを味わいながら、これからの時代に必要な「プログラミングの思考力」を育む、本格的な特別プログラムです。



対象 小学4~6年生 **定員** 40名 **持ち物** 筆記用具
受講料 8,000円(4回分、保険料含む)
※講座で使用するレゴ・マインドストームは中部大学で貸与します。

監修 藤吉 弘亘 中部大学 AIロボティクス学科 教授
講師 藤井 隆司 中部大学 情報教育プログラム 講師



土曜日 10:00~12:00

テーマ

6/27	実習1	ロボットとは?ロボットの組み立て
7/4	実習2	ロボットプログラミングの基礎
7/11	実習3	ロボットプログラミングの応用
7/18	ロボット製作、ミニ競技会	

講座ガイド

<学ぼう!> ロボットはなにができるのかを具体的に学びます。	<組み立てよう!> レゴ・マインドストームを使って、早速ロボットの組み立てをはじめましょう。	<動かそう!> そして、作ったロボットを動かしてみます。
<作ってみよう!> さらに、コンピュータを使ってロボットを動かすプログラム(命令)を作ります。	<考えよう!> いよいよ、ロボットを自分の思い通りに動かすプログラムを考えます。何度も試走をくりかえし、ベストな設定を見つけ出しましょう。	

光と色の不思議を探る ~色のしくみを大解明!



7/18(土) 10:00~12:00

太陽の光って何色?リングが赤く見えるのはなぜ?シャボン玉が虹色に見えるのはなぜ?そんな疑問をまるごと解決!光を色ごとに分ける道具(分光器)を自分で作って、いろいろな光をのぞいてみよう。また、薬品を混ぜて赤・緑・青に光る溶液を作ったり、それらを混ぜて好きな色に光らせたりする実験もします。光と色の不思議な関係を自分の目で見て体験して、色のしくみに詳しくなろう。

対象 小学4~6年生 **持ち物** 鉛筆、定規、ハサミ、カッター
定員 24名 **受講料** 2,000円(材料・保険料含む)

講師 篠内 一博 中部大学 応用化学科 准教授
付き添い者の会場入室は、座席の都合上、1名以内でお願いします。



自由研究にも役立つ! マイコン・プログラミング講座

8/4(火) 10:00~15:00

小さなコンピュータ「マイコンビット」を使って、プログラミングの基本を楽しく学びます。マイコンって何だろう?というところからわかりやすく説明し、その後はLEDやボタン、ジャイロ機能、マイク、ブザーなど、いろいろな機能を使って、自分だけのプログラムを作っていきます。自分で作ったプログラムが、その場で光ったり、動いたり、音を出したりする楽しさを体験できる講座です。プログラミングが初めてでも大丈夫。楽しみながら学べるので、夏休みの自由研究のヒントにもぴったりです。未来の発明家への第一歩を、いっしょに踏み出してみよう!

対象 小学4~6年生 **持ち物** 筆記用具、学食の昼食代、またはお弁当
定員 20名 **受講料** 5,000円(教材・保険料含む)

講師 藤井 隆司 中部大学 情報教育プログラム 講師

昼食は学食体験(有料)ができます!



教材で使ったマイコンビットはお持ち帰りいただけます。

AI時代、なぜ「辞書引き学習」なのか? —辞書引き学習体験会—

6/13(土) 10:00~11:30

講師 深谷 圭助 中部大学 現代教育学科 教授

AI全盛期の今こそ「紙の辞書」は人間の思考を深め、言葉の本質に触れる道標です。即答するAIに対し、自ら考え学ぶ力を養う必要があります。国内外で辞書引き指導をしてきた深谷先生に子どもを取り巻く教育環境をグローバルな視点で語っていただきます。

対象 小学生とその保護者
教育に関心のある方(中高生も含め、大人のみ参加可)
定員 親子50組100名 **持ち物** 筆記用具、辞書(小学生向け) **受講料** 500円



5月20日(水)10:00よりホームページから受付開始

会場 中部大学 春日井市松本町1200

申込先 中部大学地域連携教育センター
ホームページからお申込ください。
定員になり次第締切。申込時にクレジットでの入金手続きが必要です。

TEL 0568-51-4392(平日/9時~17時) HP <https://www.chubu.ac.jp/news/56068/>

